

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2017

No. **12**



安全・安心な南但をめざして!

▲新(左)・旧(右)はしご車のパトタッチ!

災害状況



平成29年
1月20日現在

- ・火災… 0件
- ・救急… 212件
- ・救助… 5件

主な内容

特集 火災による犠牲者を出さないために … 2・3

- ◆ 一日消防官
消防ふれあい祭り …………… 4
- ◆ 出初式
秋の火災予防運動合同訓練 …………… 5
立雲峡防災ヘリ合同訓練
- ◆ 消防写真館 …………… 6・7
消防白書・火災調査レポート
- ◆ お知らせ …………… 8

火災による犠牲者を出さないために



平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した火災は記憶に新しいところです。糸魚川市によると、この火災で焼失した建物は147棟で、うち全焼が120棟と大規模なもので、火災による被災者支援法が初めて適用されるなど、その被害は甚大なものとなっています。

今回は建物火災に焦点を当て、火災による犠牲者の防止について平成27年の全国の火災状況から考えてみましょう。

1日当たり107件の火災が発生

平成27年中の全国の出火件数は3万9111件で、1日当たり107件の火災が発生したことになります。

平成27年中の出火件数のうち、建物火災は2万2197件で全火災の56.8%を占めています。

また、火災による死者数(放火自殺者等を除く)は1204人となっています。

火災による死者の状況

1204人のうち、逃げ遅れが591人で49.1%を占めています。その中でも避難行動を起こしたけれど逃げられなかったと思われるもの(避難したが病院で死亡し

た場合を含む)が212人と最も多く、次いで発見の遅れにより既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)が208人でした。建物火災のうち、火元建物を用途別にみると住宅火災が最も多く、全体の半数以上を占めています。

また、住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)は914人で、前年(1006人)と比較して92人減少し、1220人を記録した平成17年と比較すると306人の減少となっています。65歳以上の高齢者は611人で、前年と比較して88人減少していますが住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)の66.8%を占めています。

(図1参照)

住宅火災の死者(放火自殺者等を除く)を時間帯別で見ると、2時から6時までの時間帯が全時間帯の1.4倍となっています。

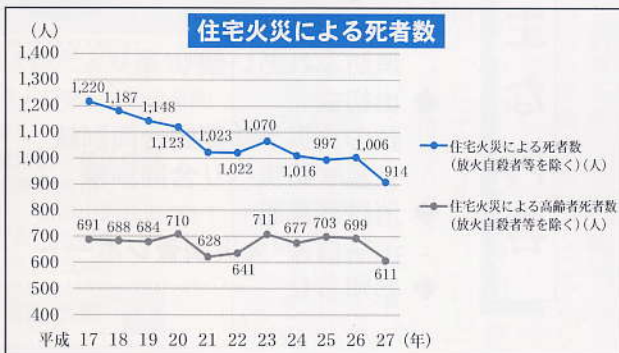
住宅火災の死者(放火自殺者等を除く)は1204人で、前年(1006人)と比較して92人減少し、1220人を記録した平成17年と比較すると306人の減少となっています。65歳以上の高齢者は611人で、前年と比較して88人減少していますが住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)の66.8%を占めています。

出火原因は？

出火原因別の出火件数は、放火4033件、たばこ36

38件、こんろ3497件と上位を占めています。「たばこ」による火災の経過別出火状況は、たばこを不適當なところへの放置によるものが2210件(60.7%)となっています。また、「こんろ」による火災の経過別出火状況は51.3%に当たる1794件が消し忘れによるものとなっています。

図1 住宅火災による死者数



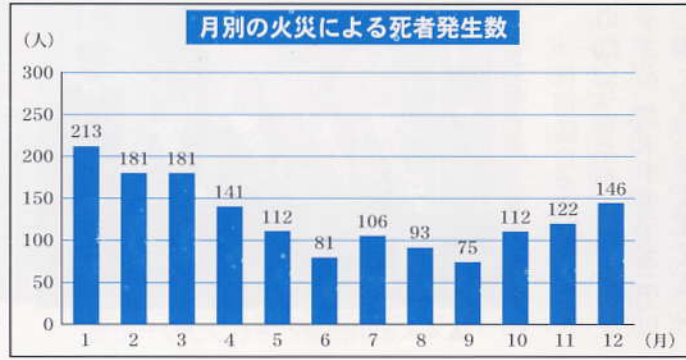
冬季・春季の

火災が多い

出火件数を四季別でみる

と、火気を使用する機会が多い冬季から春季にかけての出火件数が57.7%を占めています。(図2参照)

図2 月別の火災による死者発生数



家庭の防火

火事を出さないためには日ごろから心掛けておきたいポイントがあります。

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない
出火原因の第1位は放火

です。家のまわりに新聞紙や雑誌など、燃えやすいものを置いておくと放火の標的となることがあるので気を付けてください。

2. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
たばこは灰皿のある場所

で吸い、灰皿には水を入れておくと安心です。また、火のついたたばこの放置や投げ捨ては厳禁です。

3. てんぷらを揚げるときはその場を離れない
来客や電話などでその場

を離れるときは、必ずこんろ等の火は消してください。また、こんろの周囲や上部には燃えやすいものを置かないでください。

4. 風の強い時はたき火をしない
風の強い時はたき火をしない

でください。たき火をする時は水を入れたバケツを準備して、終わった残り火がないよう完全に消火してください。

5. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
コンセントにはほりりがた

まると発火する恐れがありますので、普段からこまめに

掃除をしましょう。また、たこ足配線は発熱する危険性があります。電気器具は説明書をよく読んでお使いください。

6. ストープには燃えやすいものを近づけない
カーテンの近くで使用し

たり、ストープの周辺や上部で洗濯物を乾かしていませんか？危険ですのでやめてください。また、購入の際は耐震自動消火装置付きのものを選んでください。

もしもの時は？

○早く知らせる

「火事だ」と大声を出して隣近所に助けを求めてください。たとえ小さな火でも119番通報をしてください。自分で出来ないときは近くの人に通報を頼みましょう。

○早く消火する

初期消火は出火から3分以内が限度といわれています。てんぷらを揚げている時であれば、水にぬらしたシーツやバスタオルを手前からかぶせる方法がありますが、やけどをする危険があるの

で極力消火器で鍋の周辺を包むようにかけます。また、水をかけて消火しようとすると炎が急激に拡大し、周囲に油が飛び散る場合があるので絶対にやめてください。

○早く逃げる

消火がうまくいかず壁板や天井に火が燃え移ったら急いで避難してください。

○住宅用火災警報器は設置していますか？

消防法が改正され、一般住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されて10年以上経過しました。この警報器は、住宅の天井や壁に取り付けて、火災で発生する煙や熱を感知してブザーや音声により火災の発生をいち早く知らせ、避難をうながす器具です。住宅火災で死者を出す主な原因は「逃げ遅れ」です。警報器が作動し煙や炎が確認できたなら、直ちに初期消火や避難を開始してください。また、警報器は、定期的に作動テストを行ってください。設置から10年を経過している場合は新しい警報器に買い替えることをお勧めします。

○消防訓練に参加しよう

皆さん、火事を出したら、

あるいは発見したらどうしますか？火事という非日常的な事態のなかで落ち着いて行動できるでしょうか？そのためには、地区で開催される消防訓練や、消防教室に積極的に参加していただき、消火器や地区内にある消火栓の使用方法を身に付けてください。

○おわりに

冒頭の新潟県糸魚川市の火災は、あれだけ広範囲で多くの建物を焼失したにもかかわらず、1人の犠牲者もありませんでした。何故でしょうか？り災された男性は「最初はすぐに消えると思っていただけ、近所の女性が『役所が避難勧告を出したから』といっしょに逃げよう」と言ってくれたので命拾いしました」と取材に答えています。

長年にわたり培われたお互いを思いやる関係、近所同士の気遣いのおかげのように思います。

皆さん、まだまだ寒い日が続きます。お体を大切にしてください。お休みに火災を出さない様にお願いたします。

秋の火災予防運動 (11/9 ~ 11/15)

一日消防官による防火呼掛け

◆火災予防運動期間前の11月8日に、養父・朝来両市の女性消防団員4人に「一日消防官」をお願いしました。



▲4人の消防官とキャラクターたち

一日消防官をお願いしたのは、写真左から橋本由紀子さん、荒木千恵子さん(以上養父市)、藤原麻代さん、山中夏穂さん(以上朝来市)です。両市のキャラクター、やっぷー(養父市)・ちやすりん(朝来市)もかけつけ、一緒に防火を訴えました。消防長から辞令交付を受

けた後、童和こども園と東河こども園に分かれて訪問し、「自らの命は自ら守る」ための判断能力とその方法を身につけるため、園児たちに防火クイズにチャレンジしてもらいました。女性のソフトな口調の読み聞かせにより興味をひき、楽しさの中に火の怖さを印象付けることができました。また、両市のキャラクターとともに広報物品を園児一人ひとりに手渡し火災予防をアピールしました。



▲東河こども園のみなさん



▲防火クイズの様子(童和こども園)

終了後、4人の皆さんに感想を伺うと「緊張しましたが、園児たちとすぐ打ち解けることができ楽しかったです。防火クイズは園児たちの反応もよく、防火思想の啓発に効果があると感じました。消防団員としてこれまで様々な活動を行ってきましたが、園児に対しての広報は初めてで貴重な経験をすることが出来ました。」と述べられています。

消防本部では、未来の社会の主人公として地域の防火・防災の担い手となる園児に対し、継続的かつ効果的に防火・防災教育を実施していきます。

消防ふれあい祭り

11月20日、養父市上箇Yタウン駐車場で「消防ふれあい祭り」を開催しました。

あいにくの天候ではありましたが、今年も多くの方が来場され、新しくなったはしご車への乗車や水消火器を使用した消火訓練、自動体外式除細動器(AED)の取扱いなどを体験されました。

住宅用火災警報器等の防災グッズや消防車・救急車の展示場では、多くの方が写真を撮っておられ、風船



▶はしご車乗車体験

◀水消火器を使用した消火体験



やハンカチ等の広報物品の配布も大人気で、盛大に賑わいました。

はしご車の乗車体験では、乗車前の子供たちの緊張した面持ちから一転、乗車後にはたくさんの方の笑顔が溢れていたのが、とても印象深く感じられました。

回を重ねるにつれ来場者も多くなっている消防ふれあい祭りですが、この体験を通してたくさんの方に防火・防災の知識や関心をもっていただければと願っています。

平成29年 消防出初式

1月12日、新春を迎え、住民の皆様の安全・安心を願うとともに、我々消防への信頼と理解を深めていただくため、南但消防本部「消防出初式」を開催しました。

式典では、広瀬管理者の式辞に続き笹谷消防長が訓示を述べ、市民の信頼を得るための規律の保持と、「安全・安心な南但をめざして」をスローガンに職員が心を一つに絆を強くし、共に歩める1年にすることを誓いました。

観閲の部では、車両7台職員37名が部隊指揮者の指揮により、小隊ごとに車両



▲消防隊員による一斉放水訓練

最後に消防隊が大空に向け一斉放水を行い、本年度全国消防救助技術大会に出場した神宮司隊員のロープブリッジ渡過により「安全・安心な南但をめざして」と書いた横断幕を展開し、消防出初式を締めくくりました。



▲神宮司隊員によるロープブリッジ渡過

前に整列し、観閲者による部隊観閲を受けました。

消防訓練の部では、地震で倒壊したビル内に要救助者が数名いるという想定で、救助隊員がロープやはしご、はしご車を駆使し要救助者を地上に救出し、救急隊に引き継ぎました。

秋の火災予防運動合同訓練

秋の火災予防運動の一環として、消防団との合同消防訓練を行いました。

11月6日、よふど温泉(朝来市山東町森区)周辺で建物火災を想定した訓練を朝来市消防団山東支団と行い、9日には、市御堂ふれあい広場朝来市和山町市御堂区(周辺で焼却火の拡大を想定した訓練を朝来市消防団和山支団と行いました。

どちらも訓練前に、防火意識を高めるため地域住民を対象とした消防教室(初期消火訓練)を行いました。合同訓練では、長距離の送水や夜間での消火活動を通して、連携強化を図ることができました。



▲女性消防団員による放水訓練



▲放水訓練(大屋町宮垣地区)

また、和山支団では女性消防団員も訓練に参加し、機敏な動きで放水などの消火活動に加わりました。

さらに13日には、琴弾の丘周辺(養父市大屋町宮垣区)で建物火災を想定した訓練を養父市消防団大屋方面隊と実施し、お互いの連携による放水活動の大切さを確認することができました。

こうした訓練を通して、消防団と連携することが円滑な消防活動に繋がり、地域の安全、安心を守ることにあります。今後も訓練を継続していかねばならないと改めて感じました。

兵庫県消防防災航空隊との合同山岳救助訓練

11月17日、朝来市の竹田城跡を望める観光名所として人気のある立雲峡(和田山町竹田)において、兵庫県消防防災航空隊と合同の山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は観光客が登山道から滑落したとの想定で、消防本部からの要請による航空隊の出動、消防本部救助隊による負傷者の滑落現場から安全な場所への引き上げ、航空隊による防災ヘリへの吊り上げ救助を実施したものです。

当日、救助隊員らは足場の悪い急斜面から、負傷者を登山道まで声を掛け合いながら救出し、航空隊と連携して、手際よく迅速に防災ヘリへ引き継ぐことができました。



▲負傷者を吊り上げる航空隊員

消防写真館



庁舎見学 (10月14日 養父消防署)

童和こども園の皆さんが養父消防署に来庁し、火災や救急で使用する資器材を手に取りました。気分はカッコいい消防士さんです。



避難訓練 (10月11日 生野小学校)

児童の皆さんを対象に、防火扉を通り抜ける訓練を行いました。もし火災が発生し、防火扉が閉じてしまっても素早く避難できそうです。



消防訓練

(11月8日 朝来医療センター)

職員の皆さんが消防用設備等の役割や操作方法を学ばれました。真剣な面持ちで聴講されていました。



消防訓練 (10月28日 但馬醸造所)

消火器の操作方法を学ぶため、水消火器を使用し、積極的に訓練されていました。



消防教室

(10月21日 但馬マルキガス関連事業所)

震災に関するDVDの視聴や消防職員による防災講話の聴講など、地震への備えや地震時の心構えを学ばれました。

※昨年に引き続き件数増加
救急件数は3123件、搬送人員は2888人で、前年と比較すると77件、129人増加しています。

救急

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		29 (31)	19 (18)	10 (13)
建物		9	6	3
林野		2	1	1
車両		3	2	1
その他		15	10	5

()内は前年件数

※総件数、建物火災とも減少
火災件数は両市合わせて29件で、前年と比較すると2件減少しています。建物火災は9件となっており、昨年と比較すると8件減少しています。

火災

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		59 (74)	30 (30)	29 (43)	— (1)
交通事故		29	15	14	—
機械		3	2	1	—
水難		1	—	1	—
その他		26	13	13	—

()内は前年件数

※件数、救助人員ともに減少
救助件数は59件で、15件減少しています。その内35件で救助活動を行い、43人を救助しています。

救助

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		3,123 (3,046)	1,590 (1,532)	1,530 (1,511)	3 (3)
急病		1,866	997	869	—
交通事故		265	140	122	3
一般負傷		491	250	241	—
その他		501	203	298	—

()内は前年件数

消防白書

平成28年
1月～12月



避難訓練 (11月28日 建屋小学校)

教室内に煙を充満させ、その中から脱出する訓練が行われました。皆さんハンカチを口に当て低い姿勢で速やかに避難されました。



避難訓練 (11月16日 宅老所えんや)

火災を想定した避難訓練が行われました。車椅子での避難も職員の皆さんが協力して、安全に速やかに行われました。



消防訓練 (11月15日 八鹿病院)

粉末消火器を使用し実際の火を消火する訓練を行いました。約5メートル離れた位置から徐々に近づき、落ち着いて消火をされていました。



特別査察 (12月14日 イオン和田山店)

年末に買い物客などで混雑が予想される商業施設に対し特別査察を行い、防火管理や避難管理の状態を確認しました。



救急救室 (12月8日 三菱マテリアル生野事業所)

ペアとなりAEDを組み合わせた心肺蘇生法の実技訓練が行われました。救急隊到着前の応急手当の大切さを学ばれました。



車両乗車体験 (12月7日 照福こども園)

避難訓練後、消防車両の乗車体験や消防車との記念撮影が行われました。乗車体験では、憧れの消防車に乗れ、みんな大変満足そうにしていました。

南但消防本部管内では、昨年29件の火災が発生しましたが、その中でも最も多い火災原因は、枯草やごみの焼却中に付近の枯草等に燃え広がったものでした。

この枯草やごみの焼却中による火災は、春に多く発生し、3月～5月の3か月間で10件と頻発しています。これは、冬から春にかけては空気が乾燥しているうえに風が強いため、燃え移り、風に煽られて燃え広がってしまうためです。

この燃え広がる速さは、時により人が走って逃げるより速いことがあり、炎や煙に巻き込まれ、やけどを負ったり、煙を吸い込んだり、場合によっては焼死することもあります。さらには、燃え広がった枯草から建物や山林に燃え移ることもあります。

これから暖かくなりますが、農作業をする機会が増えますが、枯草や刈り取った草等の焼却をする場合は、次のことに注意してください。

火災調査レポート
枯草やごみの焼却からの火災に注意!

- ① 野焼きをすることは、廃棄物処理法により禁止されていますが、農業・林業を営むためにやむを得ず行う場合のみ例外的に許されますので、必要最小限で行う。
- ② 乾燥注意報が発令されている時や風の強い時は行わない。
- ③ 周囲に燃えやすいものを置かない。
- ④ 消火用の水バケツや消火器等初期消火が出来る物を用意しておく。
- ⑤ 必ず複数の人数で行い、焼却中はその場を離れない。繰り返しになりますが、例外的に許されている行為になりますので、十分な準備と注意を払い行うようにしてください。



お知らせ

INFORMATION

◆人命救助に対する感謝状贈呈

平成28年10月25日、養父市八鹿町八鹿五光ファミリールホール内において突然、70代男性が倒れ心肺停止の状態となりました。五光ファミリールホール従業員が素早く心肺停止を確認し、早期の119番通報と設置してあるAEDを用いて電気ショック、心肺蘇生法を行いました。その結果、救急隊到着時には、呼吸・脈拍が再開しており、その後救急隊からドクターヘリへ引き継がれて病院へと搬送され、現在は社会復帰されています。男性の尊い命を救った五光ファミリールホール従業員の勇氣

ある行動に対して、平成28年11月11日に消防長から感謝状が贈呈されました。



▲五光ファミリールホール従業員の方々

◆はしご車更新

今年度事業で、21年間使用したはしご付き消防自動車を更新しました。このはしご車の最大の特徴は、車両の安定性能が向上

したことにより、これまでより狭い場所でもはしごを伸ばして活動することが可能になりました。
また、大規模火災にも対応できるよう放水能力を倍増させ、照明も大光量のLED灯を装備することで、夜の活動もより安全に行うことができるようになりました。
なお、はしご車は昨年11月16日から、朝来消防署に配備され運用開始しています。



▲15m級はしご付き消防自動車

◆山火事防止運動

消防署並びに消防団では、4月の1か月間、山火事防止運動を展開します。

◆春の火災予防運動

3月1日から3月7日までの一週間、全国一斉に春の火災予防運動を実施します。朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向け、万全の態勢で臨みます。

3月1日～3月7日

主な行事予定

- 消防訓練 八鹿・生野地域
- 立入検査等 病院・福祉施設
- 消防教室 学校・事業所・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 病院・福祉施設



編集手帳

昨年12月22日10時20分頃、糸魚川市で発生した火災は、住宅や飲食店が火元となった火災としては、過去20年で最悪の焼損棟数となりました。

折からの20mを超える強風で飛び火し、火点が分散したことや消火用水の不足などで消火に手間取り、火元から海岸に向かつての147棟、約4万平方メートルが焼損、翌日の鎮火までに約30時間を要する大火となりました。

被災された皆様のご心痛とご苦労を思うと心が痛み、一日も早い復興を願わずにはいられません。

この大火も小さな油断が原因だったようです。「火の用心」に、し過ぎはありません。

今年「とり」年。家庭や地域を見回して、火災につながる危険を「とり除き」災いを寄せ付けない平穏な年としたいものです。

ゴローくん



南但消防本部に新しいはしご車がやってきました!!

今日は、はしご車の操作訓練を行う!



ゴロー、行きまーすっ!

よしっ!



グラ グラ グラ...

隊長、ゴローくんは高い所が苦手なんですよ。



グラ グラ...



NANTAN

119だより

NANTAN 119だより第12号

2017年2月1日発行 (年3回発行)

■発行・編集

南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町牧田436-1

■TEL 079-672-0119

■FAX 079-672-5046

南但消防本部